

年間指導計画案 第3学年

学校の教育目標 よりよく学び、よりよく生きる生徒の育成
 学年の重点項目 他者に学ぶ積極的な態度を養う。自ら進んで奮出して学ぶ実践意欲を養う。いたわり励まし合う人間愛の精神を培う。

月	教科名	内容項目	主題	ねらい	主な内容(◎は中心発問)	評価のポイント (口ねらいについて、◇指導方法について)	各教科等
4月 (3時間)	1	風に立つライオン	人間の気高さ	内なる弱さや向き合い、それを克服することで、生きることに喜びを感じる。 風いだそうとする実践意欲を育てる。	○ケニアについてどんなイメージをもちているか。 ○「僕」はケニアへ旅立つとき、どんな気持ちだったのだろう。また、恐人ほどんな気持ちだったのだろう。 ○「僕」の言う「理想生活」は、何を意味しているのだろう。 ○「風」に向かおうと立つライオンでありたいとは、どんな生き方を言うのだろうか。 ○この語から私たちが学べることは、どんなことだろうか。 ○「さだまさしさん」からあなただけへ「何を感じたか。	口人間として生きることに関心をもつこと。 ◇思い返しや補助発問で話し合いを活発にすることによって、考え議論する態度を実現することができたか。	音楽、総合的な学習の時間、特別活動
	2	銀メダルから得たもの	希望と勇氣、克己と強い意	より強い目標を設定し、その実現のために努力や希望、勇氣の必要を理解することにも、困難や失敗を乗り越えてやり遂げようとする実践意欲を高める。	○吉田選手は、どうして試合が終わったあとでもマットのの上に伏せてままだいるのだろうか。 ○吉田選手は、小さなときから、どんな気持ちでレスリングに打ち込んできたのだろうか。 ○道場へやってくる子どもとの出会いで、吉田選手はどのような気持ちに変化したのだろうか。 ◎銀メダルから得たものは、なんだったのだろうか。 ○より高い目標をめざすことについて、感じたり学んだりしたこと振り返ってみよう。	口目標に向かって諦めずに努力する大切さや自分で打ち勝つ強い意志の重要性を促した発言や記述が見られたか。 ○喜びや希望などから、より高い目標をめざすうえで大切なことを、生徒自身の経験をもとに深く考えさせることができたか。	保健体育
5月 (3時間)	3	出迎え三歩、見送り七歩	おもてなしの心	礼儀は形と心が溶け合ったものであることと理解し、相手に対する敬愛の念を示そうとする態度を育てる。	○おもてなしの心について考えてみよう。 ○お客様の出迎え方と見送り方について、グループで話し合おう。 ○友達のあつ、感謝や敬意を表現しよう。 ◎「出迎え三歩、見送り七歩」を演習し、山折さんが「おもてなしの極意」ではないかと感じたのは、どんなことか考えてみよう。 ○「おもてなし」とは、どのようなことか、考えたことをまとめてみよう。 ○「おもてなし」は、どんな気持ちから「みんながいてくれてありがとう」、いんじやない。と言ったのだろうか。 ○「おもてなし」は、先生の話や聞いて何が伝わったように感じたのは、どのようだろうか。 ◎十二神将像を調べ、おもてなしの心を感じたのは、どんなことか考えてみよう。 ○日本の伝統文化を知ることとは、どんなことにつながっていくのだろうか。	口話し合いや体験中の態度や様子に、相手をおもてなしする思いが見られたか。 ○それぞれのグループの話し合いの内容に「おもてなし」の工夫が見られるよう、問い返しの発問などを検討することができたか。	図画、総合的な学習の時間、特別活動
	4	昔と今を結ぶ糸	我が国の伝統と文化の尊厳、重宝を愛する態度	日本人としての自覚を深め、受け継がれてきた歴史や伝統文化の素晴らしさを理解し、発見させようとする心構えを育てる。	○「私」は、T字さんに対してどう感じたか。問題点をいまいまに悔いている。「私」のどんなことが問題だったのだろうか。問題点を考えた理由を挙げてみよう。 ○上で挙げた場面について、問題点を考えた理由をまとめてみよう。 ◎いじめという問題を乗り越えるためには、どんな考え方が大切だろうか。なぜこのように問題を乗り越えようとしたのかをめぐり、グループで話し合おう。 ○「私」のこれまでの生き方を振り返って、これからの自分の生き方について考えてみよう。 ○排除のときに適可から「早くよやや。」と注意されて、「僕」はどんな気持ちだったのだろうか。 ○「私」は、T字さんに対してどう感じたか。問題点をいまいまに悔いている。「私」のどんなことが問題だったのだろうか。問題点を考えた理由を挙げてみよう。 ○上で挙げた場面について、問題点を考えた理由をまとめてみよう。 ◎いじめという問題を乗り越えるためには、どんな考え方が大切だろうか。なぜこのように問題を乗り越えようとしたのかをめぐり、グループで話し合おう。 ○「私」のこれまでの生き方を振り返って、これからの自分の生き方について考えてみよう。	口先人が昔ながらの伝統と文化の素晴らしさに気づき、自らも伝統と文化を受け継ぐ役割になっていくという気持ちで、祭や記述に昇られたか。 ○先人の気遣いに共感させながら、自分も伝統と文化を継承し新たな文化を創造していく大切さを考えさせることができたか。	社会、特別活動
5月 (3時間)	5	卒業文集最後の一行	いじめを許さない心	いじめがいかに非情であるかを理解し、差別や偏見を人間として許さない心構えを育てる。	○「私」は、T字さんに対してどう感じたか。問題点をいまいまに悔いている。「私」のどんなことが問題だったのだろうか。問題点を考えた理由を挙げてみよう。 ○上で挙げた場面について、問題点を考えた理由をまとめてみよう。 ◎いじめという問題を乗り越えるためには、どんな考え方が大切だろうか。なぜこのように問題を乗り越えようとしたのかをめぐり、グループで話し合おう。 ○「私」のこれまでの生き方を振り返って、これからの自分の生き方について考えてみよう。	口いじめが差別的人間として許されないものである。加害者が相手の痛みに対して無感な態度でいるという気持ちで、祭や記述に昇られたか。 ○先人の気遣いに共感させながら、自分も伝統と文化を継承し新たな文化を創造していく大切さを考えさせることができたか。	特別活動
	6	違うんだよ、健司	友情、信頼	友情の尊厳を理解するとともに、友達をよき理解者として心から信頼し、互いに励ましあう心構えを育てる。	○排除のときに適可から「早くよやや。」と注意されて、「僕」はどんな気持ちだったのだろうか。 ○「私」は、T字さんに対してどう感じたか。問題点をいまいまに悔いている。「私」のどんなことが問題だったのだろうか。問題点を考えた理由を挙げてみよう。 ○上で挙げた場面について、問題点を考えた理由をまとめてみよう。 ◎いじめという問題を乗り越えるためには、どんな考え方が大切だろうか。なぜこのように問題を乗り越えようとしたのかをめぐり、グループで話し合おう。 ○「私」のこれまでの生き方を振り返って、これからの自分の生き方について考えてみよう。	口「僕」になりにきつたうえで、共感し感動する場面をとおして、本当の友情とは何かを気づかせる発言や記述が見られたか。 ○生徒の意見を聞き取り上げ、話し合いを深めることができたか。	特別活動
5月 (3時間)	7	命のトランジット	世界平和と人類愛	国際的視野に立ち、人類愛について理解を深め、世界平和と人類の幸福に貢献しようとする実践意欲を育てる。	○天井を見つめ、深いため息をついた杉原は、どんな思いだったのだろう。 ○許可が出なくても諦めず二度目の電報を送る杉原には、どんな思いがあったのだろうか。 ◎「エリカ」は、なぜ「命」をおかしてまで、エリカをひきよつたのだろうか。 ◎「エリカ」は、なぜ「命」をおかしてまで、エリカをひきよつたのだろうか。 ◎「エリカ」は、なぜ「命」をおかしてまで、エリカをひきよつたのだろうか。 ◎「エリカ」は、なぜ「命」をおかしてまで、エリカをひきよつたのだろうか。 ◎「エリカ」は、なぜ「命」をおかしてまで、エリカをひきよつたのだろうか。	口ユダヤ人を救おうと決心した杉原千太郎のお話を、世界平和や人類の幸福を大切に思う発言や記述が見られたか。 ○外交官としての職責や家族の安全と、人種を超えた生命の大切さとの間で苦悩する杉原千太郎の心の動きをとおして、多面的・多角的に深く考えさせることができたか。	外国語、総合的な学習の時間
	8	エリカ—奇跡のいのち—	生命の尊厳	生きていくことの尊厳と尊厳を尊重し、かけがえのない自己の生命を尊重しようとする心構えを育てる。	○いつ、どこで生まれ、どんな名前もわからぬ状況をどう思うか。 ○母親は、どんな思いでエリカを汽車から外にほうり投げたのだろうか。 ○父の人は、なぜエリカをおかしてまで、エリカをひきよつたのだろうか。 ◎「エリカ」は、なぜ「命」をおかしてまで、エリカをひきよつたのだろうか。 ◎「エリカ」は、なぜ「命」をおかしてまで、エリカをひきよつたのだろうか。 ◎「エリカ」は、なぜ「命」をおかしてまで、エリカをひきよつたのだろうか。 ◎「エリカ」は、なぜ「命」をおかしてまで、エリカをひきよつたのだろうか。	口生きていくことの尊厳や生命の大切さを、かけがえのない生命を尊重しようとする心構えを育てる。生きていくことの尊厳や生命の大切さを、かけがえのない生命を尊重しようとする心構えを育てる。生きていくことの尊厳や生命の大切さを、かけがえのない生命を尊重しようとする心構えを育てる。	社会

年間指導計画案 第3学年

学校の教育目標 よりよく学び、よりよく生きる生徒の育成
 学年の重点項目 他者に学ぶ謙虚な態度を養う。自ら進んで学ぼうとする意欲を養う。いたわりあふましく人間関係の精神を培う。

月	教科名	内容項目	主題名	ねらい	主な疑問(◎は中心疑問)	評価のポイント(□は採点方法について)	各教科学習
6月 (4時間)	9	私も高校生	自分で決めたこと	主体的に自分の生き方を考え、やろうと決めたことを言葉に実行し、その結果に責任をもつとする態度を育てる。	○「私」は、愚痴をこぼしてしまっただけで、どんな気持ちになっただろう。 ○「私」は、どんなことを思っただろう。通関制高校への進学を決意したのだから。 ○四年間学び続けてきたのは、「私」にどんな思いがあったからだろう。 ○あなたにとって、学ぶ意味や喜びとは何か、あらためて考えてみよう。	□よりよい人生に向け、主体的に考え実践に実行しようとする発言や記述が見られたか。 □「私」の病める生き方に共感でき、自らの生き方について考えさせることができたか。	総合的な学習の時間、特別活動
	10	あるレズビアン性	勤労の尊さ	自分の考えが次第で仕事の意味を深らさず、自分自身に責任を押しつけて、自分自身を苦しめる。	○進路を考えるうえで、就きたい仕事はあるか。 ○家庭審判に人と進社社長の経験がズラッと並ぶような人がいたら、あなたならどんなアドバイスをするだろう。 ○昔の日記を見て、主人公の女性が気づいたことはなんだろう。 ○これまででレズビアン性について学んだことはなんだろう。 ○レズビアン性の主役になったのは、新人研修で仕事の意味を深らさず、自分自身を苦しめたことだろうか。 ○人は何のために仕事をするのか、また仕事とはどんなものなのか、考えてみよう。	□働くことについて、学んだ生き方が得られることに気づき、その素晴らしさについてさらに考えようとする発言や記述があったか。 □主人公の女性の仕事に対する価値観を高く評価できるように、思い返しや補助質問などを工夫できたか。	社会、総合的な学習の時間、特別活動
7月 (2時間)	11	No Charity, but a Chance!	ともに生きる社会の実現	自分たちが生活する社会に自ら進んで参画し、よりよい社会を築くことを目指して、いかにして社会を良くしていくかを考える。	○中村医師は、イギリスの病院で何に気づいたのだろうか。 ○中村医師は、外国人患者の姿からどのようなことを学んだのだろうか。 ○働く場所を作るようなことを学んだのだろうか。 ○中村医師は、どんな気持ちで「彼ら」を失くしてはいけなかったのか。 ○ともに生きる社会の実現のために、どんな生き方が求められるのだろうか。	□よりよい社会を実現するために自分自身ができる発言や記述があったか。 □中村医師の姿からどのようなことを学んだのだろうか。 □働く場所を作るようなことを学んだのだろうか。 □中村医師は、どんな気持ちで「彼ら」を失くしてはいけなかったのか。 □ともに生きる社会の実現のために、どんな生き方を考えることができたか。	社会、保健体育、総合的な学習の時間、特別活動
	12	新しい夏のはじめ	前向きな生き方	自分を責め、これまでの自分を冷嘲かきつて、新しい夏のはじめに、後悔を生かして自分自身を責める。	○体育館にひとり立ちつくしていたとき、重樹はどんな気持ちでいたのだろうか。 ○重樹は、どうももう一度、無駄じゃなかったって、思えるようにするの！と言ったのだろうか。 ○重樹が体育館のどきどきを聴き、よく似たのは、どんな思いがあったからだろうか。 ○教材から考えたことと友達の意見を聞いて、友達や先輩に伝えたいことを考えてみよう。 ○無駄じゃなかったと思えるようにするには、どのように毎日を送ればよいか考えてみよう。	□自分自身を見つめ、それまでの後悔を生かして新しい生き方をしようという発言や記述が見られたか。 □重樹の気持ちや発言の意味を思い返し、自分自身を責める発言や記述が見られたか。 □教材から考えたことと友達の意見を聞いて、友達や先輩に伝えたいことを考えてみよう。 □無駄じゃなかったと思えるようにするには、どのように毎日を送ればよいか考えてみよう。	保健体育、特別活動
8月 (4時間)	13	「福むらの火」余話	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土のために尽くした先人の生き方を理解し、自らも地域社会の一員であるという帰属意識をもって郷土に貢献しようとする態度を育てる。	○「たいまつを持った濱口権兵衛の尊厳を認めて」この尊厳の人物は何を思っていると思うか。 ○津波がやって来たとき、あなたならどうするか。 ○安政南海地震のあと、権兵衛はどんな思いをもって行動したのだろうか。 ○広村堤防への土盛りが現在も続けられているのは、地域の人がどんな思いを抱いているからだろうか。 ○私たちが、自分たちの地域のためにどんなことができるだろうか。	□郷土に対する自分自身の思いを認識し、郷土に貢献してきたいという発言や記述が見られたか。 □権兵衛への敬意だけでなく、生徒自身に置き換えて考えさせることができたか。	社会、数学、総合的な学習の時間、特別活動
	14	言葉の向こうに	相手の気持ちを考える	それぞれの立場を尊重し、いろいろな意見や考えがあることを理解し、寛容の心をもつとする態度を育てる。	○多岐決のとき、自分が少教派だと考えを言えないという人がいるが、それをどう思うか。 ○必死で反論する「私」はどのような気持ちでいたのだろうか。 ○「中村」は、自分たちと同じレベルで争わないで、という書き込みを見て、「私」は、どう思ったのだろうか。 ○「私」は、いかに大層なことを言っていたか、どんなことを思っていたのだろうか。 ○相手の気持ちを考えた行動とは、どんなものだろうか。	□自分の発言する言葉の向こうにそれを受け取る他者がいることや、異なった考えを受け入れることの大切さを理解した発言や記述があったか。 □「自分」の「私」の話し合いの活動によって多面的・多角的に考えさせることができたか。	国語、技術・家庭、特別活動
9月 (4時間)	15	命の大切さ	豊かな人権意識	不公正な言動をせず、お互いの生命を尊重し、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度を育てる。	○差別や偏見のない社会の実現に努めようとする発言や記述が見られたか。 ○「私」は、いかに大層なことを言っていたか、どんなことを思っていたのだろうか。 ○「私」は、いかに大層なことを言っていたか、どんなことを思っていたのだろうか。 ○「私」は、いかに大層なことを言っていたか、どんなことを思っていたのだろうか。	□差別や偏見のない社会の実現に努めようとする発言や記述が見られたか。 □「私」は、いかに大層なことを言っていたか、どんなことを思っていたのだろうか。 □「私」は、いかに大層なことを言っていたか、どんなことを思っていたのだろうか。	社会

年間指導計画案 第3学年

学校の教育目標 よりよく学び、よりよく生きる生徒の育成
 学年の重点項目 他者に学ぶ謙虚な態度を養う。自ら進んで発信しようとする実践意欲を養う。いたわり励まし合う人間愛の精神を培う。

月	教科名	内容項目	主観名	ねらい	主な養育(◎は中心養育)	評価のポイント (口指しについて、◇指導方法について)	各教科等
12月 (2時間)	24	D-(19) 生命の尊さ	自他の生命の尊さ	臓器提供という現代的な課題をとおして、生命の尊さを深く理解し、自他の生命を大切に育むこととして尊重しようとする判断力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○臓器移植や臓器提供意思表示カードについて知っていることを挙げてみよう。 ○臓器移植を巡っては、どんな迷いや問題があるだろう。 ○高井さんが「臓器ドナーに私は出来ない」というのはどんな思いからだろう。 ○新井さんが自分の臓器提供には肯定的なのに、妻の臓器提供には否定的なのはなぜだろう。 ○臓器移植について、家族や周囲の人たちが迷うのはどうしてだろう。自分が臓器を提供するとした場合も高井さんの理由を考慮し、話し合おう。 ○自他の生命の尊さについて、考えたことをまとめてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> □臓器提供について自分の考えをもち、仲間の考えを受け入れて、より生命に対する尊敬の念を深め、尊重するような発言や記述が見られたか。 ◇一人ひとりの考えを引き出し、共有し、さらに自分一人に立ち返らせることで、生命のかけがえのなさを感じさせる授業展開になっていたか。 	社会、理科、保健体育、特別活動
	25	A-(6) 真理の探究、創造	夢の実現	よりよく生きるために、真実を大切ににし、真理を探究して新しいものを生み出そうとする実践意欲を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○IPS細胞について、知っていることを話し合おう。 ○2度の大きな挫折を乗り越え、山中さんはどんな気持ちだったのだろう。 ○IPS細胞の作製に成功したのは、山中さんにどんな目標があったからだろう。 ○夢の実現に向けて走り続けている山中さんの原動力になっているものはなんだろう。 ○新しいことを生み出すとき、どんなことを大切にすればよいだろう。 ○専業主婦は、父のあとを継いで能楽師になることをなぜ決めたのだろう。 ○父の姿が何か違っていたのはどうしてだろう。 ○父と母が違ったような価値観を、専業主婦にならなかつたのはどうしてだろう。 ○父が難しい言葉で能楽を学ばせようとしている理由を、専業主婦に考えてみようと思つたのはどうしてだろう。 ○文化や芸術を受け継ぐために、どんなことを大切にすればよいのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> □よりよく生きたいという願いや、新しいものを創りだすことへの意欲を示す発言や記述が見られたか。 ◇夢も挫折を乗り越えながら研究を進めている山中さんの原動力となるものを話し合い、自分自身のこととして考えさせることができたか。 □専業主婦の内面的成長から専業主婦としての意識や意欲について考えている発言や記述があったか。 ◇専業主婦の内面的変化を追い、伝統文化を継承、発展させる重要性を理解させるための的確な発問ができたか。 	理科、総合的な学習の時間
	26	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	日本の文化を受け継ぐ	先人の残した有形無形の文化遺産の中に残されたものを見いだし、それを生み出したきた精神に学ぶことで、継承し発展させようとする実践意欲を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ○マハラ、ユスフザイについて知っていることはあるか。 ○原諒力がスローモーションを支配し、学校へ通えなくなつたとき、マハラはどんな気持ちになつただろう。 ○一人の子供も、一人の教師、一冊の本、そして一本のペンが、世界を変えられる」という言葉には、マハラがどんな思いが込められているのだろうか。 ○マハラをここまで突き動かすものは、なんだろう。 ○世界平和の第一歩には、どんなことがあるだろう。 ○母に食事係の担当を促されたときの「私」の気持ちを考えてみよう。 ○「私」が描くすべてのアイデアに素直に賛成できなかったのは、どうしてだろう。 ○「食事係で新しい世界を知つた」という「私」は、どんなことを考えたのだろうか。 ○私たちが支えてくれている人の思いやつながりに、どのように応えていけばよいのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> □マハラをとおして、世界平和を自分のこととして考える発言や記述が見られたか。 ◇思い巡しの発問などから、多面的・多角的に深く考えさせることができたか。 	社会、外国語、総合的な学習の時間
1月 (3時間)	28	B-(6) 思いやり、感謝	周りへの感謝	家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や自分の成長に感謝し、進んで周囲の思いに配慮しようとする態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○母に食事係の担当を促されたときの「私」の気持ちを考えてみよう。 ○「私」が描くすべてのアイデアに素直に賛成できなかったのは、どうしてだろう。 ○「食事係で新しい世界を知つた」という「私」は、どんなことを考えたのだろうか。 ○私たちが支えてくれている人の思いやつながりに、どのように応えていけばよいのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> □「私」が周囲に響んでもらえたことや、おばさんたちの気配りについて深く考えようとしている発言や記述があったか。 ◇身近な人への感謝の気持ちが表れた発言や感情を振り返ることができたか。 	技術・家庭、総合的な学習の時間
	29	A-(1) 自主、自衛、自由と責任	自律的な生き方	自主的に考え、自らを律し、自分のためたことを実行しようとする判断力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ○最近、「自分で決めて行動した」と自信をもって言えることがあるか。 ○母から町内会の共同作業に参加することを頼まれ、黙って音所を出した明は、どんなことを思つたのだろう。 ○ザック、ザックと重たい荷物、どんな気持ちで持ち帰ったのだろう。 ○明は、どうして自分から草や枝をまとめて運ぶが始めたのだろうか。 ○背筋を伸ばして大股で学校に向つた明は、どんなことを思つていただろう。 ○自ら考え、行動することの素晴らしさについて考えてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> □自分の意志で行動することの大切さを表えた発言や記述があったか。 ◇明の行動の変化を振り返ることとおして、自主、自律の大切さを感ぜさせることができたか。 	特別活動
	30	C-(14) 家族愛、家族生活の充実	家族の在り方	祖母の苦悩や不安、家族への思いに気づく主人公の姿をとおして、家族への敬意を深め、家族の一員としての役割を果たそうとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者である祖母の気持ちが表れている部分に線を引きなごら。教科書を読もう。 ○「誰だって年を取ればわいもできれば白髪にもなつてしまふものよ。」と言つた祖母の気持ちは、どんなものだったのだろう。 ○祖母が書いた一冊のノートには、祖母のどんな思いが込められているのだろうか。 ○祖母と並んで草取りをする場面を、みんなの前で演習してみよう。 ○「僕」と祖母が並んで草取りをする場面を、みんなの前で演習してみよう。演技のあとに、「僕」と祖母それぞれの思いを伝えてみよう。 ○家族みんなの幸せについて、深く考えてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> □「僕」に共感しながら、祖母の苦悩や不安、自分の家族に思いをはせる発言や記述が見られたか。 ◇問い巡しや補助発問から、自分の立場で考えさせることができたか。 	技術・家庭、総合的な学習の時間

年間指導計画案 第3学年

学校の教育目標 よりよく学び、よりよく生きる生徒の育成
 学年の重点項目 他者に学ぶ謙虚な態度を養う。自ら進んで責任を担う。いざわたり励まし合う人間愛の精神を培

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な養育(◎は中心養育)	評価のポイント (口ならいについて、△増強方法について)	各教科等
2月 (4時間)	31 サトシの一票	C-(12) 社会参画、公共の精神	よりよい社会の実現	社会の一員としての権利を積極的に理解し、主体的に社会に参画すること、よりよい社会の実現に寄与しようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ○選挙に対して、どんなイメージをもっているか。 ○「選挙は俺たちの未来を左右する、大切な機会」と別々に言われて、サトシは何を思ったのだろう。 ○「この街のこれからのことを考えなきゃいけない」と言う兄の姿から、サトシは何を考えたのだろう。 ◎サトシは「将来の一票」をどのように捉え、どうしようと考えているのだろうか。 ○あなたが住む街の未来のために、できることを考えてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> □「将来の一票」がよりよい社会の実現につながることに気づいた様子が、発言や記述に現れたか。 △話し合い活動をおして、教師の講話などを用いながら考えを深めさせたことができたか。 	社会
	32 ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン	O-(10) 道法精神、公善心	規律ある社会	社会の成員としての正しい行いを実践する公徳心の大切さを理解し、規律ある社会の實現に努めようとする実践意欲を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○この人はモースというアメリカ人だが、何をした人が知っているか。 ○「あたりまえの心遣い」とはどのようなことだろうか。 ○「現実と理想の時計を部屋に置いていくように」に言われたとき、モースはどう思ったのだろう。 ◎モースを驚かせた日本のよさを支えていたものはなんだろうか。 ○規律ある社会を築くためには、何が大切だろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> □規律ある社会のために法やきまりを守ることを大切にして、発言や記述があったか。 △問い返しの質問をおして、多面的・多角的な見方や考え方を引き出すことができたか。 	社会、外国語、総合的な学習の時間、特別活動
	33 世界を動かした美	D-(22) よりよく生きる喜び	よりよく生きる	さまざまな環境の中で人間としてよりよく生きようとする大切さを学び、自分の生き方について考えを深めようとする心構えを育む。	<ul style="list-style-type: none"> ○俳優として世界のスターになり、オーディリーはどんな思いだったのだろう。 ○紛争地帯の子どもの姿を見て、オーディリーは何を感じたのだろう。 ◎ユニセフ親善大使となったオーディリーは、どんな思いで紛争地帯を訪問し、活動を続けたのだろうか。 ○あなたの心を強く笑き動かした、人の生き方について考えてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> □話し合い活動への積極的な参加や発言、記述をおして、授業の初めよりも「自分の人生をよりよく生きること」への関心が高まっている様子が見られたか。 △授業での発言に対して、その場できちんと評価したり教師として感銘を述べたりすることができたか。 	社会、外国語、特別活動
3月 (2時間)	34 お別れ会	よりよい学校生活、集団生活の充実	我が校を愛する心	自校に対する愛着を深め、協力して校風を継承し、発展させようとする態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなが大切にしている我が校の「校風」といえば、どんなものか挙げられるだろうか。 ○年中を卒業する「僕」は、どんな中学生だったのだろうか。 ○卒業と目が合ったような気がして、「僕」がどこまで考えたのだろうか。 ◎「僕」が高校でも運動を続け、後輩たちのコーナードにきているのは、どんな思いからだろうか。 ○卒業の一員として、よりよい学校をつくるためにどうすればよいか、考えてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> □自校の校風を思いだし、愛着をもつとともに、それを継承し、発展させていこうとする発言や記述が見られたか。 △「僕」の心情を追うこととおして、自校の伝統や校風を想起させ、その中で自分の生き方を考えさせることができたか。 	保健体育、特別活動
	35 希望	D-(19) 生命の尊さ	かけがえない生命	生命の重さと絶対的な有限性を理解し、自他の生命を尊重して懸命に生きようとする実践意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ○東日本大震災の写真や動画を見て、どんな感想をもったか。 ○暗闇の中で「私」はどんな気持ちで目を閉じたのだろうか。 ○祈りのために目を閉じたとき、「私」はどんなことを考えたのだろうか。 ◎祖父母の言葉を聞いて、「私の心はどうしてざわめきだしたのだろうか。 ○復讐へ向けて働く人々を見て、「私」はどんな心のざわめきによって、自分を奮えようとしたのだろうか。 ○今回のできごとから、「私」はこれからどのように生きていこうと決心したのだろうか。 ○願い「生命を大切に生きていくには、何が必要だろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> □生命の有限性などを理解し、生命を大切にすること、自分自身にできることは何かを考えている発言や記述が見られたか。 △「私」の気持ちの委縮を踏まえようとして、生命の有限性などを養育することによって深く考えさせることができたか。 	国語、社会、理科、総合的な学習の時間、特別活動

各教科・総合的な学習の時間・特別活動・道徳の単元配列表(1年生)

枚方市立招提北中学校

第1学年 指導の内容及び時期

教科	指導の内容及び時期											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	朝のリーダー 音	ペンギンの防寒着 クジラの飲み水	空中フランク乗りのキキ 文法(文面)・手のない漢字	玄関摩 書き	それだけでいい トロソク	書き 竹取物語・故事成語	文法(体言・用言) 意味と意図	スピーチ 意見文	少年の日の思い出 漢字のしくみ	文法(自立語) グループ新聞	関く・ぼくを中心とした課題学習	
社会	世界の姿 日本の姿	世界の各地の人々の 生活と環境		世界の語地域				歴史へのとびら 古代までの日本	古代までの日本 中世の日本	中世の日本		
数学	正の数・負の数		文字の式	方程式	変化と対応	平面図形	空間図形	データの活用				
理科	いろいろな生物とその共通点			活きている地球		身の回りの物質	光・音・力による現象					
英語	アルファベット、単語、へボン式ローマ字 SVC, SVO (一人称、二人称)	can 命令文 SVC(三人称)		現在進行形	過去形(do動詞)	過去形(be動詞)	will, be going to	まとめ・整理				
総合的な学習の時間	ガイダンス 「ゆめ・みらい」学習	「福祉」調べ 「できること」検討	「福祉」に関する探究 「できること」検討 「できること」活動	「できること」活動 まとめ・整理	「多文化共生」に関する探究 朝鮮半島と日本 課題設定	地域(淡路島)調べ 2年校外学習に向けて	「地域」に関する探究 課題設定	まとめ・整理 進路学習	1年間のまとめ ポストスターセッション			
	学級開き	学級目標決め 学校生活のきまり	生徒総会の取り組み 福祿学習	1学期個人・クラス反省 1学期レポーターシート 文化祭の取り組み 学年集会	後期クラス係り、委員決め 国際理解の探究学習 体育祭の取り組み 学年集会	2学期個人・クラス反省 2学期レポーターシート 学年集会	進路学習 国際理解の探究学習 スポーツ大会への取り組み 学年集会	進路学習 高校説明会 3学期個人・クラス反省 スポーツ大会	高校説明会 学年集会 3年生を送る会			
特別活動	学級活動	学級生活のきまり	学級生活のきまり	学級生活のきまり	学級生活のきまり	学級生活のきまり	学級生活のきまり	学級生活のきまり	学級生活のきまり	学級生活のきまり	学級生活のきまり	学級生活のきまり
	生徒会活動	対面式	生徒総会	生徒総会	生徒総会	生徒総会	生徒総会	生徒総会	生徒総会	生徒総会	生徒総会	生徒総会
学校行事	入学式 始業式	入学式 始業式	入学式 始業式	入学式 始業式	入学式 始業式	入学式 始業式	入学式 始業式	入学式 始業式	入学式 始業式	入学式 始業式	入学式 始業式	入学式 始業式
	身体測定 各種健診	身体測定 各種健診	身体測定 各種健診	身体測定 各種健診	身体測定 各種健診	身体測定 各種健診	身体測定 各種健診	身体測定 各種健診	身体測定 各種健診	身体測定 各種健診	身体測定 各種健診	身体測定 各種健診
道徳	(道徳とは)	道徳とは	道徳とは	道徳とは	道徳とは	道徳とは	道徳とは	道徳とは	道徳とは	道徳とは	道徳とは	道徳とは
	サンカク-の道徳を描きたい	サンカク-の道徳を描きたい	サンカク-の道徳を描きたい	サンカク-の道徳を描きたい	サンカク-の道徳を描きたい	サンカク-の道徳を描きたい	サンカク-の道徳を描きたい	サンカク-の道徳を描きたい	サンカク-の道徳を描きたい	サンカク-の道徳を描きたい	サンカク-の道徳を描きたい	サンカク-の道徳を描きたい
音楽	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱
	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱	思いこめた合唱
美術	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン
	色彩の基本・仕組み	色彩の基本・仕組み	色彩の基本・仕組み	色彩の基本・仕組み	色彩の基本・仕組み	色彩の基本・仕組み	色彩の基本・仕組み	色彩の基本・仕組み	色彩の基本・仕組み	色彩の基本・仕組み	色彩の基本・仕組み	色彩の基本・仕組み
保体	集団行動	バスケットボール	陸上	水泳	ダンス	ダンス	ダンス	ダンス	ダンス	ダンス	ダンス	ダンス
	体づくり 体力テスト	体づくり 体力テスト	体づくり 体力テスト	体づくり 体力テスト	体づくり 体力テスト	体づくり 体力テスト	体づくり 体力テスト	体づくり 体力テスト	体づくり 体力テスト	体づくり 体力テスト	体づくり 体力テスト	体づくり 体力テスト
技術科 家庭科	衣服の選択手入れ	衣服の選択手入れ	衣服の選択手入れ	衣服の選択手入れ	衣服の選択手入れ	衣服の選択手入れ	衣服の選択手入れ	衣服の選択手入れ	衣服の選択手入れ	衣服の選択手入れ	衣服の選択手入れ	衣服の選択手入れ

各教科・総合的な学習の時間・特別活動・特別活動・道徳の単元配列表(2年生)

枚方市立招提北中学校

第2学年 指導の内容及び時期

	4月	5月	6月	7月	8.9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	名づけられた葉 セロログホームルール	グループディスカッション 人間は他の国に住むこと ができるのか 他、手紙	短歌の世界・短歌十首 書き・書き・イロハ 言・書き・言葉発表 プレゼンテーション	100年後の水を守る 文法(助動詞)・ プレゼンテーション	枕草子・徒然草 を贈らすこと・ 投	大岡政談・小ざな手袋 創作文・言葉発表	平家物語 詞句でできること・講義文	書写 文法(動詞)・言葉発表	漢詩 走れメロス	地域情報誌 ピフリオナル・読書活動	聞く・話すを中心と した国語学習
社会	近世の日本	地域の調査の手法 日本の地域的特色と地域区分	日本の諸地域	地域のあり方	開国と近代日本の歩み						
数学	式の計算	連立方程式	一次関数	図形の調べ方	図形の性質と証明	場合の数と確率	場合の数と確率	場合の数と確率	場合の数と確率	場合の数と確率	場合の数と確率
理科	物質の成り立ち (if when, because) that節	化学変化 It... (for A) to ~.	化学変化と物質の質量 It... (for A) to ~.	生物の体のつくりとはたらき There is [are] ~. 動名詞 / Must	生物の体のつくりとはたらき 動物の体のつくりとはたらき	気象観測と雲のでき方 大気中の水の状態・大気の状態	地球の大気と天気の変化 大気の状態・大気の状態	電流と磁界 電流の性質	電流と磁界 電流の性質	電流と磁界 電流の性質	電流と磁界 電流の性質
英語	不定詞 It... (for A) to ~.	不定詞 It... (for A) to ~.	不定詞 It... (for A) to ~.	動名詞 / Must	SVOC / SVOC have to	比較 I'll show you how to ...	比較 I'll show you how to ...	現在完了(継続) Could you ...?	現在完了(継続) Could you ...?	現在完了(継続) Could you ...?	現在完了(継続) Could you ...?
総合的な学習の時間	ガイダンス 「ゆめ・みらい」学習 「地域」環境「調べ」	「環境」「地域」に関する探究	「環境」「地域」に関する探究	「環境」「地域」に関する探究	「環境」「地域」に関する探究	「環境」「地域」に関する探究	「環境」「地域」に関する探究	「環境」「地域」に関する探究	「環境」「地域」に関する探究	「環境」「地域」に関する探究	「環境」「地域」に関する探究
学級活動	学級開き	学級開き	学級開き	学級開き	学級開き	学級開き	学級開き	学級開き	学級開き	学級開き	学級開き
生徒会活動	列面式	生徒総会	生徒総会	生徒総会	生徒総会	生徒総会	生徒総会	生徒総会	生徒総会	生徒総会	生徒総会
学校行事	入学式 始業式 身体測定 各種健診	最後のバートナー いじめと向き合う 五月の風-ミカ-	最後のバートナー いじめと向き合う 五月の風-ミカ-	最後のバートナー いじめと向き合う 五月の風-ミカ-	最後のバートナー いじめと向き合う 五月の風-ミカ-	最後のバートナー いじめと向き合う 五月の風-ミカ-	最後のバートナー いじめと向き合う 五月の風-ミカ-	最後のバートナー いじめと向き合う 五月の風-ミカ-	最後のバートナー いじめと向き合う 五月の風-ミカ-	最後のバートナー いじめと向き合う 五月の風-ミカ-	最後のバートナー いじめと向き合う 五月の風-ミカ-
道徳	自分の弱さと戦え 自分の強さと戦え	自分の弱さと戦え 自分の強さと戦え	自分の弱さと戦え 自分の強さと戦え	自分の弱さと戦え 自分の強さと戦え	自分の弱さと戦え 自分の強さと戦え	自分の弱さと戦え 自分の強さと戦え	自分の弱さと戦え 自分の強さと戦え	自分の弱さと戦え 自分の強さと戦え	自分の弱さと戦え 自分の強さと戦え	自分の弱さと戦え 自分の強さと戦え	自分の弱さと戦え 自分の強さと戦え
音楽	ハートの役割の理解 歌唄表現の工夫	ハートの役割の理解 歌唄表現の工夫	ハートの役割の理解 歌唄表現の工夫	ハートの役割の理解 歌唄表現の工夫	ハートの役割の理解 歌唄表現の工夫	ハートの役割の理解 歌唄表現の工夫	ハートの役割の理解 歌唄表現の工夫	ハートの役割の理解 歌唄表現の工夫	ハートの役割の理解 歌唄表現の工夫	ハートの役割の理解 歌唄表現の工夫	ハートの役割の理解 歌唄表現の工夫
美術	水と筆を操る	水と筆を操る	水と筆を操る	水と筆を操る	水と筆を操る	水と筆を操る	水と筆を操る	水と筆を操る	水と筆を操る	水と筆を操る	水と筆を操る
保健男子	集団行動	バスケットボール	バスケットボール	バスケットボール	バスケットボール	バスケットボール	バスケットボール	バスケットボール	バスケットボール	バスケットボール	バスケットボール
技術科 家庭科	体づくり 体力テスト	エネルギー変換の技術の仕組み	エネルギー変換の技術の仕組み	エネルギー変換の技術の仕組み	エネルギー変換の技術の仕組み	エネルギー変換の技術の仕組み	エネルギー変換の技術の仕組み	エネルギー変換の技術の仕組み	エネルギー変換の技術の仕組み	エネルギー変換の技術の仕組み	エネルギー変換の技術の仕組み
特別活動	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動

各教科・総合的な学習の時間・特別活動・道徳の単元配列表(3年生)

枚方市立招提北中学校

第3学年 指導の内容及び時期

	4月	5月	6月	7月	8.9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	岩が 握手	文法・語句 簡の文化	俳句の世界 希望	電写・スピーチ・作文 フロンティアの物語	和歌の世界 おくのほそ道	論語 情報社会を生きる	初恋 故郷	「文殊の知恵」の時代 スピーチ・作文	坊ちゃん 書写	文法のとらえ 名言集	入試演習
社会	日清・日露戦争と近代産業	二度の世界大戦と日本	現代の日本と世界	現代の日本と世界	個人の世界と日本国憲法 現代の民主政治と社会	現代の日本と世界	現代社会と私たち よりよい社会を目指して	地球社会と私たち	地球社会と私たち	3年間の総まとめ	
数学	式の展開と因数分解	平方根	二次方程式	二次方程式	関数	関数	図形と相似(円の性質)	三平方の定理・標本調査	総復習		
理科	生命の連続性	化学変化とエネルギー	水溶液とイオン	中和反応	力のつりあい	運動・仕事	エネルギー	恒星・太陽系	天体の運動	自然界のつながり 自然環境	科学技術
英語	現在完了形、 現在完了進行形	奨励巻	後巻修飾	関係代名詞(主格)	Reading For Fun 1, 関係代名詞(主格)	関係代名詞(目的格)	疑問詞+不定詞の原形 It-be動詞+-(for) 人+to+動詞	仮定法	関係詞+不定詞 主語・動詞+目的語・補語 主語・動詞+目的語+項目	Reading For Fun 2, 私立対策	Reading For Fun 3, 復習、公立対策、英作文
総合的な学習の時間	ガイダンス 「ゆめ・みらい」学習 乗鞍・高山調べ	「地域」に関する探求	乗鞍・高山調べ	自己啓発・課題設定	「自己啓発」課題設定	資料集め 事前訪問アポ	「SDGs」に関する探求	交流	振り返り	3年間を振り返り	合唱 卒業式本番
学級活動	学級開き	修学旅行(振り返り)	修学旅行を終えて	文化祭の取り組み	文化祭の取り組み	文化祭感想・アンケート	進路写真	2学期個人、クラス反省	私立願書作成	私立入試に向けて	公立入試に向けて
生徒会活動	対面式	生徒総会	生徒総会	文化祭	文化祭	体育祭	入試に向けて	学年集会	卒業式	卒業式	卒業式
学校行事	入学式 始業式	大掃除	終業式	文化祭	文化祭	体育祭	体育祭	大掃除	終業式	終業式	終業式
道徳	風(道徳とは)	昔と今を結ぶ糸	命のトランジットビザ	新しい夏のはじまり	「稲むらの火」余話	二通の手紙	失った笑顔を取り戻す	父は能楽師	1冊のノート	1冊のノート	希望
音楽	出迎え三歩、見送り七歩	日本の朝のよさや美しさの理解、歌謡表現の工夫	あるレジン打ちの女性	命の大切さ	命の大切さ	自分の相手・周りの人	職業ドナー	作曲に応じた発声を生かした、歌唱表現の工夫	世界を動かした美	世界の諸民族の音楽の理解、その特徴の理解、その魅力の理解	仲間とともに、感情豊かに合唱
美術	絵画	線画	鑑賞	デザイン	デザイン	卒業記念品	卒業制作	空想は現実を超えて	一年間のポートレート		
保体男子	集団行動	バスケットボール	陸上	水泳	バレーボール	ソフトボール	剣道	陸上	バレーボール	アルティメット	サッカー
保体女子	体づくり 体カテスト	陸上	器械運動	水泳	ソフトボール	バレーボール	バスケットボール	陸上	サッカー・ハンド	ダンス	バドミントン
技術/家庭	私の成長と家族・地域 私たちと家族・家庭と地域	幼児の生活と遊び 幼児とのふれあい	情報モラル	情報モラル	PCの仕組みと基本操作	ソフトの機能と情報処理	ネットワークと情報セキュリティ 計測と制御	布を用いた製作			

令和5年度 学力向上プラン

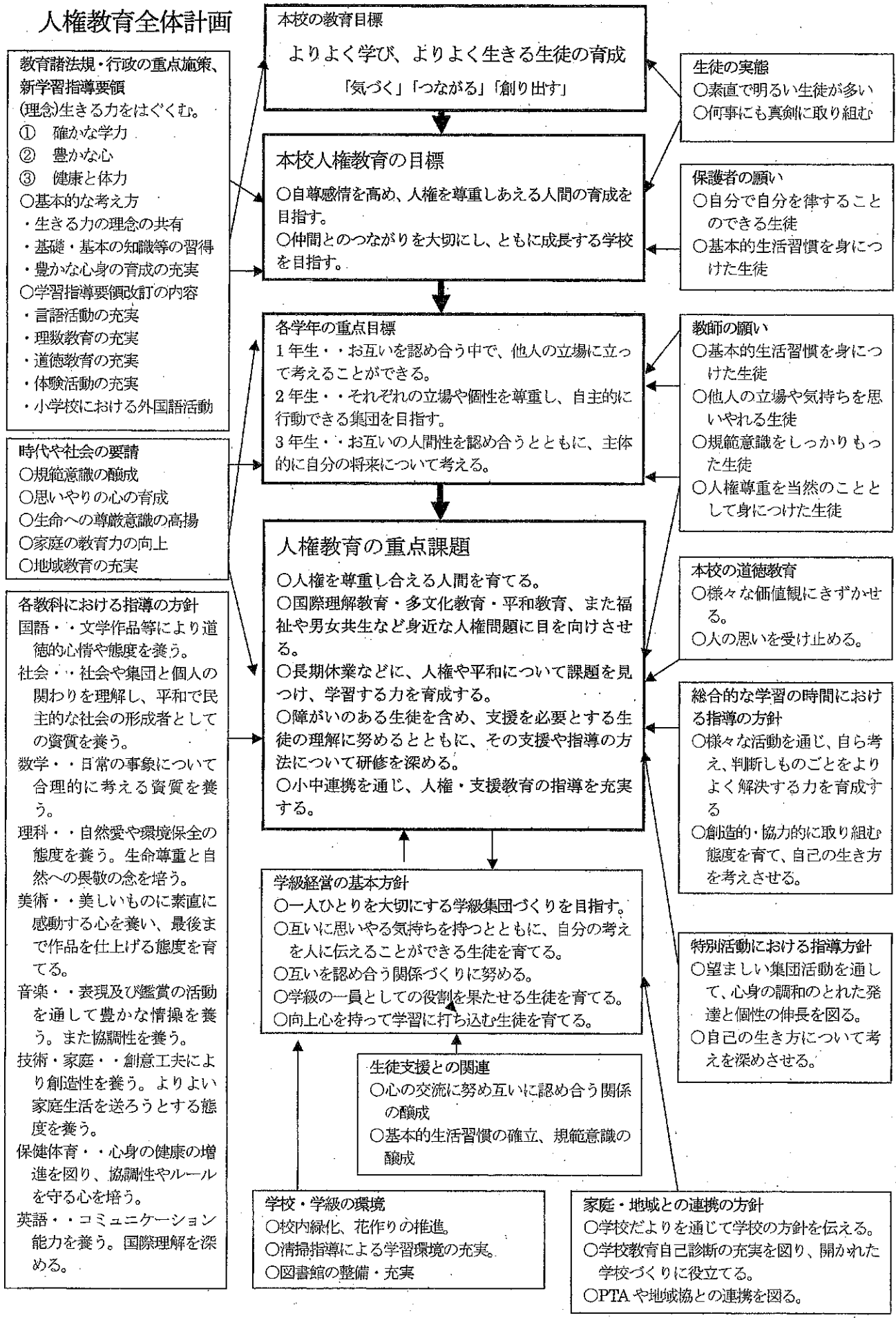
1. 今年度の目標やテーマ

生き方を磨く、学びのコーディネート

4月	・学力向上委員会 ・18日全国学力学習状況調査 ・校内研修 ・学力向上委員会	8月・9月	・校内研修 ・学力向上委員会 ・9月5日チャレンジテスト ・学力向上委員会	1月	・学力向上委員会 ・10日チャレンジテスト(1・2年)
5月		10月		2月	・学力向上委員会 ・校内研究授業、公開授業(1年) ・小中合同部会
6月	・学力向上委員会 ・小中合同SDGs研修 ・校区小学校研究授業	11月	・学力向上委員会 ・校内研究授業(3年) ・校内研修 ・校区小学校研究授業	3月	・学力向上委員会
7月	・学力向上委員会 ・校内研究授業(2年) ・校内研修 ・小中合同部会	12月	・学力向上委員会		

	取り組み項目	具体的な内容
学力向上に向けた組織的な取り組み	学力向上委員会等、組織的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員でピックアップした全国学力・学習状況調査の問題を解く時間を設定し、国が求めている学力観の共通理解を図るとともに、日々の授業にどう活かすかの協議、実践。(5月、適宜) ・校内研究テーマの設定、研究授業の流れの確認、研究授業に向けたプランニング(4月、適宜) ・「学び探究(まなたん)※授業相互参観、交流」の実施、交流(毎月) ・学びに使用する物品の確認、教室の学習環境統一におけた情報交流(4月) ・「総合的な学習の時間(ゆめ・みらい学習)」の系統性を持った年間指導計画の作成、取組みの実践(4月、適宜) ・学びの共同体について、深澤幹彦氏を招き、校内研究授業、講話を実施。(7月、11月、2月) ・期末テスト及びアンケートを実施。集計・分析後、検証結果をもとに2学期に向けた改善点の協議、取組み策の決定。(毎学期)
	「Hirakata授業スタンダード(第3版)」及び「枚方版ICT教育モデル」に基づく授業と枚方スタンダードに基づく共通ルールの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・「Hirakata 授業スタンダード」(第3版)に基づき、「思考を促すめあて」を提示し、「個別の気づきや新たな課題を引き出す振り返り」の時間を確保する。(毎授業) ・「SYOKITAスタンダード(※教師用)」「学習の手引き(※生徒用)」を作成し、学び方や発表、話し合いの手順など、教師だけでなく生徒とも認識を共有する。(4月、適宜) ・「学びの主体は生徒自身であり、学びは教師と生徒がともに創っていくものであることを前提とし、教科系の生徒と教科担当の教師が、授業について考える機会(学習創造会)を月1回開催する。生徒の気づきや躓きを共有したり、課題の適切さなどについて定期的に対話することで、生徒がより主体的に学び合える授業づくりに向けたPDCAサイクルを活性化させる。(毎月) ・学習創造会メンバーを中心に、学習理解度を確保するための問題作成やICTを活用した家庭学習の検討を行う際に「枚方版ICT教育モデル」記載の5つのCの視点を参考にして、柔軟にアイデアを表現、共有する。(毎月)
個別最適な学びの充実に向けた取り組み	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材・学習時間等の柔軟な提供・設定が行えるように、学年会やケース会議、職員会議で情報共有、内容の検討を行う。 ・総合的な学習の時間に限らず各教科の学習活動においても、生徒が主体的に、自らの興味・関心、自分にあった方法(メディア等)、課題の難易度等を自己決定する場面を幅広く設定する。 ・「家でできること」「一人一人の取組みにかかる時間に差があるもの」は、タブレットやクラウドを活用し、家庭学習(シームレスな学び)として計画実施できるよう、生徒の意見も踏まえながら検討する。 ・「学んだことを使ってみる」機会(発表・表現)を、教科横断的な視点で適切に設定し、知識の定着力を向上させる。さらに、他者との協働的な関わり合いの中で、新たな考えや価値を生み出すことができるような授業(単元)デザインを設定する。 ・グループ学習の質の向上をねらいとした、目的意識を持った学習活動の展開と、学びをより深化させる学びの姿勢についての探究をする(非認知能力・メタ認知)。 ・教職員側の「生徒と共に学ぶ姿勢」を意識したファシリテートの向上、効果的な声かけや課題設定、発問方法の検討を行う。
	自立かつ自律した学び手の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・学習創造会教科担当生徒が、研究授業を見学、研究協議へ参加し教師と意見交流をすることで、学びの主体である子どもの意見(視点)を反映させ、生徒と教師がともに良い学びを創造していく活動を行う。 ・自分で学びに向き合う、テスト前学習時間の設定(テスト前) ・各学年や各教科で新聞(毎日・朝日・産経・読売新聞)活用の取り組みを実施(適宜) ・「SDGs」や「総合的な探究学習」の取り組みの中で、学校図書室の積極的な利用(適宜) ・「総合的な探究活動(SDGs)」について、大阪樟蔭女子大学 田辺久信教授を招き、校内研修を実施(6月、8月)

人権教育全体計画



人権教育年間指導計画

自分とは違う人の気持ちや背景、社会にある人権的課題を知り、「みんなが幸せな人生を送るためにどのようにすればいいか」という命題のもと、自己尊重感とともに人を尊重する力を養い、人とつながる価値を理解し、社会で主体的に考え行動することができる学びを仲間とともに深めていく。

- 人権を尊重しあえる学校をめざす。
- 障がいのある生徒とともに学び合う学校づくりに全教職員で取り組む
- 多文化を背景に持つ生徒がいきいきと生きていける教育活動を進める。
- 平和教育の取り組みを進める。
- 共生教育の取り組みを進める。
- 人権教育について研修を進める。

〈支援教育の具体的運営について〉

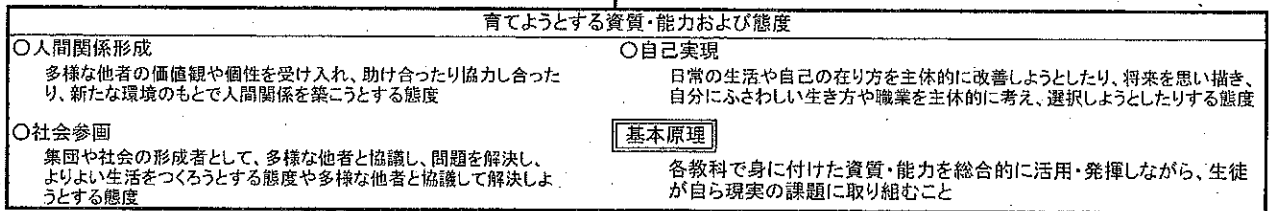
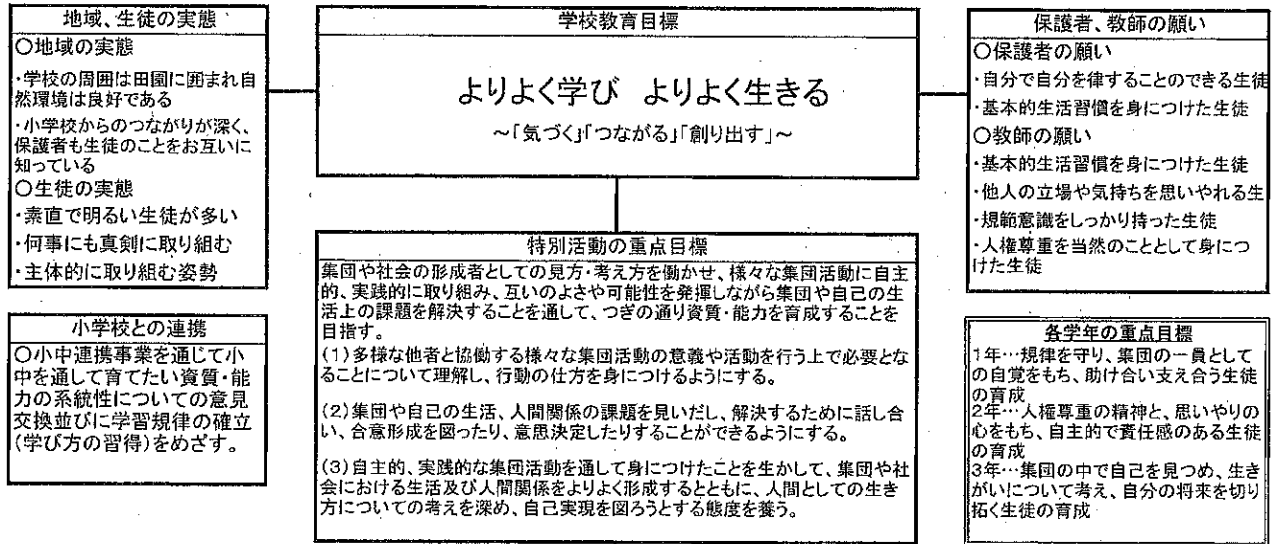
基本方針

ひとりの人間、ひとりの仲間として、全校生徒が互いに違いを理解し、人格を尊重し、助け合っ
て共に成長していくために、全職員が全領域で支援を行う。

- すべての生徒が、生き生きと生活できる共生教育を進める。
- 通常の学級との交流を深める。また同時に、個人の特性に合わせて基礎学力をつける
- 障がいのある生徒と交流学級生徒が互いに理解しあい、共にのびる学級集団をつくる中で、
 - ・生きる力を育てる。
 - ・障がいのある生徒（人）と自分とのかかわりを考えながら、障がいのある生徒と共に歩んでいける人間を育てる。
- 障がいのある生徒の進路選択を支援する。
- 研修会を持つ。

	1年	2年	3年	職員
4月	学級開き 支援学級開き(自己を知り 仲間とつながる学習)	学級開き 支援学級開き(自己を知り 仲間とつながる学習)	学級開き 支援学級開き(自己を知り 仲間とつながる学習)	人権教育研修
5月	いじめについて学習	いじめについて学習	いじめについて学習	
6月				人権教育研修
7月	平和学習(講演)	平和学習(講演)	平和学習(講演)	
8月	平和新聞作り	平和新聞作り 人権作文	平和新聞作り (SDGs)	人権教育研修 支援教育研修
9月	平和新聞交流・展示	平和新聞交流・展示	平和新聞交流・展示	
10月				
11月	人権講演会	人権講演会	人権講演会	
12月			人権学習「同和問題」	
1月				
2月				
3月				

特別活動 全体計画



よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築、社会への参画及び自己実現に向けた実践

学年	第1学年	第2学年	第3学年
学級活動の内容	<p>1学期</p> <p>学級開き((1)ア、(2)イ)・クラス目標((1)イ)</p> <p>オリエンテーション((1)ウ)・昼食指導((2)オ)</p> <p>学校生活上の決まり((3)イ)</p> <p>役員選出・係決め((1)イ、ウ)</p> <p>自転車安全指導((2)エ)</p> <p>いじめ指導((2)ア)</p> <p>学習計画の作成と実行((3)ア)</p> <p>避難訓練・安全指導((2)エ)</p> <p>学習習慣の確立に向けて((3)ア)</p> <p>体育祭・文化祭の取り組み((1)ウ(2)ア)</p> <p>1学期の反省((1)ア)</p>	<p>2学期</p> <p>学級開き((1)ア、イ(2)オ)・クラス目標((1)イ)</p> <p>学校生活上の決まり((3)イ)</p> <p>役員選出・係決め((1)イ、ウ)</p> <p>宿泊学習の取り組み((1)イ(3)ア、イ、ウ)</p> <p>避難訓練・安全指導((2)エ)</p> <p>学習習慣の確立に向けて((3)ア)</p> <p>体育祭・文化祭の取り組み((1)ウ(2)ア)</p> <p>職場体験学習に向けて2h((3)ア)</p> <p>1学期の反省((1)ア)</p>	<p>3学期</p> <p>学級開き((1)ア、イ(2)オ)、クラス目標((1)イ)</p> <p>学校生活上の決まり((3)イ)</p> <p>役員選出・係決め((1)イ、ウ)</p> <p>修学旅行の取り組み4h((1)イ(3)ア、イ、ウ)</p> <p>避難訓練・安全指導((2)エ)</p> <p>学習習慣の確立に向けて((3)ア)</p> <p>体育祭・文化祭の取り組み((1)ウ(2)ア)</p> <p>1学期の反省((1)ア)</p> <p>進路希望調査のために((3)ア、イ、ウ)</p>
	<p>2学期</p> <p>文化祭の取り組み6h((1)ウ、(2)ア)</p> <p>体育祭の取り組み5h((1)ウ、(2)ア)</p> <p>生徒会役員選挙((1)ウ(3)イ)</p> <p>避難訓練・安全指導((2)エ)</p> <p>学習習慣の確立に向けて((3)ア)</p> <p>フィールドワークの取り組み3h((3)ア、イ)</p> <p>2学期の反省((1)ア)</p>	<p>3学期</p> <p>文化祭の取り組み6h((1)ウ、(2)ア)</p> <p>体育祭の取り組み5h((1)ウ、(2)ア)</p> <p>生徒会役員選挙((1)ウ(3)イ)</p> <p>避難訓練・安全指導((2)エ)</p> <p>学習習慣の確立に向けて((3)ア)</p> <p>職場体験学習に向けて3h((3)ア、イ、ウ)</p> <p>2学期の反省((1)ア)</p>	<p>4学期</p> <p>文化祭の取り組み6h((1)ウ、(2)ア)</p> <p>体育祭の取り組み5h((1)ウ、(2)ア)</p> <p>生徒会役員選挙((1)ウ(3)イ)</p> <p>避難訓練・安全指導((2)エ)</p> <p>学習習慣の確立に向けて((3)ア)</p> <p>進路に関する取り組み4h((3)ア、ウ)</p> <p>2学期の反省((1)ア)</p>
	<p>3学期</p> <p>職業講話の取り組み3h((3)ア、イ、ウ)</p> <p>進路に関する取り組み((3)ウ)</p> <p>性教育((2)ア、イ、ウ)</p> <p>スポーツ大会の取り組み((1)イ(2)エ)</p> <p>1年間のまとめ((1)ア)</p>	<p>4学期</p> <p>職場体験学習の取り組み3h((3)ア、ウ)</p> <p>進路に関する取り組み((3)ア、ウ)</p> <p>性教育((2)ア、イ、ウ)</p> <p>スポーツ大会の取り組み2h((1)イ(2)エ)</p> <p>1年間のまとめ((1)ア)</p>	<p>5学期</p> <p>進路に関する取り組み2h((3)ア、ウ)</p> <p>スポーツ大会の取り組み2h((1)イ(2)エ)</p> <p>中学校生活のまとめ((1)ア)</p>

<p>学校行事活動内容</p>		
<p>1. 儀式的行事</p> <p>入学式(4月)・卒業式(3月) ※国旗・国歌指導</p> <p>1学期始業式(4月)、1学期終業式(7月)</p> <p>2学期始業式(8月)、2学期終業式(12月)</p> <p>3学期始業式(1月)、修了式(3月)</p>	<p>2. 文化的行事</p> <p>文化祭(2学期)、視聴覚行事(2学期)</p>	<p>3. 健康安全・体育的行事</p> <p>体育祭(2学期)、学年スポーツ大会(3学期)</p>
	<p>4. 旅行・集団宿泊的行事</p> <p>2年生校外学習(1学期)、3年生修学旅行(1学期)</p>	<p>5. 勤労生産・奉仕的行事</p> <p>1年生福祉探究学習(1学期)</p> <p>2年生職業探究学習(2学期)</p>

指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> 自主的、実践的な活動の重視 自発的、自治的な活動を助長する指導 「総合的な学習の時間」「道徳」との関連 体験的、協動的な学習の重視 	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会での連絡調整 研究部と学年会(担任団)による連絡・連携体制の確立 全職員による指導体制の確立 地域資源・地域人材の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 「パフォーマンスシート」による自己評価・相互評価 ポートフォリオを活用した評価の充実 「学習の過程」を大切に評価 「生徒の姿」による評価

総合的な学習の時間 全体計画

地域、生徒の実態 ○地域の実態 ・学校の周囲は田園に囲まれ自然環境は良好である ・小学校からのつながりが深く、保護者も生徒のことをお互いに知っている ○生徒の実態 ・素直で明るい生徒が多い ・何事にも真剣に取り組む	学校教育目標 <h2 style="font-size: 1.2em;">よりよく学び よりよく生きる</h2> <p>～「気づく」「つながる」「創り出す」～</p>	保護者、教師の願い ○保護者の願い ・自分で自分を律することのできる生徒 ・基本的な生活習慣を身につけた生徒 ○教師の願い ・基本的な生活習慣を身につけた生徒 ・他人の立場や気持ちを思いやれる生徒 ・規範意識をしっかりと持った生徒 ・人権尊重を当然のこととして身につけた生徒
総合的な学習の時間の目標 (1) 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を培い、自己の生き方を考えることのできる「生きる力」を育てる。 (2) 地域や学校の特色や実態に応じて、教科学習の横断的・総合的な学習や生徒の興味・関心に基づく学習等の特色ある教育活動を、創意工夫を生かして行う。		
小学校との連携 ○小中連携事業を通じて小中を通して育てたい資質・能力の系統性についての意見交換並びに学習規律の確立(学び方の習得)をめざす		

育てようとする資質や能力および態度	
○学習方法に関すること ・学習課題を把握し、テーマを設定し、課題探究の方法を身に付ける。 ・課題解決の中から新たな疑問や課題を見出し、探求できる。 ○自分自身に関すること ・自己の特性や役割を認識し、良さを発揮したり伸ばしたりすることができる。 ・自分の将来を見通しを持って、計画的に行動できる。	○他者や社会とのかかわりに関すること ・他者と関わりあいながら、課題を解決できる。 ・社会の一員としての自分に気づき、地域を創造していく態度を身につける。

全体テーマ 自己創生 ～自らの生き方を創り出す～

学年の目標	第1学年	第2学年	第3学年	
	「気づく」 <small>自分の身の回りや社会における様々な課題について調べ、気づいていく。</small>	「つながる」 <small>様々な活動、経験を通して、自分と社会、自分の将来につなげていく。</small>	「創り出す」 <small>自己を見つめ、社会や将来とのつながりを考え、自己の生き方を創り出していく。</small>	
課題探究活動	1学期	「社会の課題」に気づく 12h ・介護、福祉課題探究	「環境と自分」をつなげる 17h ・漁業体験を中心とした自然課題探究	「地域の魅力、社会」を創り出す 28h ・自然体験を中心とした自然課題探究 ・地域の特色、魅力課題探究
	2学期	「様々な人々の思い」に気づく 16h ・韓国、朝鮮を中心とした文化体験による課題探究 ・国際的な課題探究	「社会と自分」をつなげる 35h ・職場体験学習による勤労、職業の課題探究	「自分の生き方」を創り出す(SDGs) 26h ・自分で設定した課題探究
	3学期	「地域の魅力、社会」を創り出す 16h ・漁業体験を中心とした自然課題探究 ・地域の特色、魅力課題探究	「地域の魅力、社会」を創り出す 12h ・農業体験を中心とした自然課題探究 ・地域の特色、魅力課題探究	「新たな自分」を創り出す(SDGs) 10h ・自分の生き方についての課題探究
	全体を通して	「自分の思いを伝える」ための活動 6h ・情報の集め方、調べ方、活用の仕方 ・プレゼンテーションの方法 ・思考ツールやPCの使い方 ・発表に関する技術の習得	「自分の思いを伝える」ための活動 6h ・情報の集め方、調べ方、活用の仕方 ・プレゼンテーションの方法 ・思考ツールやPCの使い方 ・発表に関する技術の習得	「自分の思いを伝える」ための活動 6h ・情報の集め方、調べ方、活用の仕方 ・プレゼンテーションの方法 ・思考ツールやPCの使い方 ・発表に関する技術の習得

指導方法	指導体制	学習の評価
・課題設定や課題解決の方法を習得させる指導の工夫 ・体験活動の重視 ・協同的な学習活動の充実 ・他教科、領域での学びを発展させる学習支援	・運営委員会での連絡調整 ・研究部と学年会による連絡・連携体制の確立 ・全職員による指導体制の確立 ・地域の関係機関との連携	・観点別学習状況を把握するための評価規準の設定 ・ポートフォリオを活用した評価の充実 ・個人内評価の重視 ・指導と評価の一体化

各教科等との関連 ・探究活動で培った「課題設定の仕方」「調査」「まとめ」「発表」等の力を、総合以外の他教科でも積極的に活用する。 ・各教科でインプットしたことを、総合の時間でアウトプットする仕掛けを考える。このサイクルを繰り返し、知識が駆動し定着していくようなカリキュラムをマネジメントする。	評価の観点 「知識・技能」 「思考・判断・表現」 「主体的に学習に取り組む態度」	地域との連携 ・地域の事業所の協力による職場体験の実施 ・地域の関係機関の協力による福祉体験活動の実施 ・図書館等公共施設の利用 ・職業講話の講師派遣 ・外部の人材の積極的な活用
---	--	---

食に関する指導全体計画

学校教育自己診断
生徒・地域の実態

重点目標
 1 違いを認め合い、自尊感情を高め、相手を理解し、自分の考えをうまく表現する力を養い、豊かな人間関係を築かせる。
 2 授業時数の確保と生徒理解に努め、全ての生徒の学力向上を図る。
 3 地域との連携に努め、保護者や地域から信頼される学校教育を推進する。

日本国憲法
 教育基本法
 学校教育法
 学習指導要領
 食育基本法
 府教委の要望事項
 市教委の留意事項

食に関する指導目標
 ○バランスのとれた食事をとることの重要性を理解する。
 ○食物の品質や安全性について自ら判断できるよう、正しい知識を身につける。
 ○食物を大切にし、食事マナーを身につけ、食を楽しむ資質を育成する。

課題・方策
【課題】
 ・生活習慣病と食生活に関する正しい知識を身につけさせる。
 ・栄養のバランスを考えさせるとともに、朝食の大切さを認識させる。
 ・スポーツと栄養についての正しい知識を身につけさせる。
 ・日本の食生活の良さを認識させる。
【方策】
 ・教科、道徳、特別活動との有機的な連携を行う。
 ・分掌や係からの適切な指導を行う。
 ・PTAとの連携や食育に関する啓発に努める。

学年重点目標		
【1年】 朝食を摂る指導を行い、昼食時に全員楽しく食べる習慣を身につける。	【2年】 朝食を摂る指導を行い、昼食を楽しく摂るとともに、食事のマナーを身につけさせる。	【3年】 朝食を摂る指導を行い、健康と食について考えさせる。

教科
 家庭…生活の自立と食生活
 保健…健康な生活と病気の予防

道徳
 A-2 節度、節制
 D-19 生命の尊さを理解する
 C-15 充実した家庭生活

行事等
 宿泊行事や校外学習で食に関するマナーを向上させ、感謝の気持ちや準備片付けを身につけさせる。

分掌
 給食・食育だより、保健だより、Webページにより食育についての啓発に努める。

家庭・地域との連携
 家庭・地域の教育力を向上し、食に関する重要性を認識できるように情報交換に努める。

学級経営
 昼食時、全員で楽しくマナーを身につけながら食を楽しむ習慣を身につける。

体力・運動能力向上計画

1. 本計画の目標

運動に親しむ生活習慣を身につけさせるとともに、運動能力の向上を図る。

2. 全国体力・運動能力・運動習慣等調査より

昨年度では、本校の結果を大阪府・全国平均と比較すると、男子では握力・上体起こし・反復横とドボール投げの得点が高かった。しかし、長座体前屈・持久走・50m走・立ち幅とびでは低い結果と女子では握力・反復横とびで大きく平均を上回ったが、ほとんどの項目で平均より低かった。

運動に対して肯定的にとらえる生徒が多く、運動が好きであったり、大切だと感じている様子である。運動ができるようになったきっかけとして、友達に教えてもらうことがきっかけとなった経験が多く、今後の授業で生徒同士の教え合いや、話し合いを設ける必要性を感じた。

3. 今年度の目標

運動能力の向上を図る最も基本的なことは、「積極的に運動に親しむ子どもの育成」である。このことは、自分の健康管理を自分でできる「知識」「技能」「実践力」を育てることであると言える。

4. 運動能力向上施策の充実

① 基本的生活習慣の定着化

規則正しい生活ができるよう、全教育活動において指導する。特に保健の時間になぜ規則正しい生活が必要かを学ばせ、道徳の時間に自分の生活を振り返ることの大切さに気付かせる。

② 体育の時間の充実

体育の時間は、体育の苦手な生徒も楽しんで体を動かせるように授業の組み立て方や指導のあり方を改善・工夫する。

③ 基本的健康課題への対応

養護教諭による保健指導・安全指導の充実

喫煙予防教育の充実

薬物乱用防止教育の充実

第1条(目的) この規則は、枚方市立招提北中学校プール(以下「プール」という。)の管理及び使用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

第2条(使用期間等)

- 1 プールの使用期間は、水泳部・体育科で判断するが、おおむね毎年5月中に開設し、9月中旬に閉鎖するものとする。ただし、枚方市教育委員会(以下「委員会」という。)が特に必要と認めたときは、これを変更することができる。
- 2 プールの使用時間は、原則として午前8時30分から午後5時30分までとする。

第3条(維持管理) 校長は、プールを円滑に運営させるため、濾過器の定期的な点検をし、水質管理に努めるなど、適正な維持管理に努めなければならない。

第4条(換水) プールの換水は、事前に委員会に指示された日とする。臨時で給水をしなければならないときは、委員会の承認を得るものとする。排水(水の無い期間)については、枚方消防署に届けるものとする。

第5条(常備品) プールには、管理日誌を置き、必要事項を毎日記入しなければならない。

第6条(使用者) プールを使用できる者は、次のものとする。

- 1 枚方市立招提北中学校生徒と中体連等の大会、記録会に参加する生徒並びに指導監督者
- 2 委員会主催による研修会等の参加者及び指導者
- 3 枚方市教育委員会所管に係る財産および公の施設使用規則に基づく、市内の社会教育関係団体で、校長の承諾を得て、委員会が許可したもの

第7条(使用責任者) プールの使用責任者は、前条各号に規定する者のうち、指導又は監督的立場にあるものとする。

第8条(プールの使用)

- 1 プールの使用に際しては、校長の指示に従わなければならない。
- 2 使用責任者は、プールの使用が終わったときは、管理日誌に必要事項を記載し、その使用状況を校長に報告しなければならない。

プール使用に関する規則について (使用管理マニュアル)

1. 生徒の安全管理について

生徒の健康状態を常に把握すること・・・水泳は、水という環境の中で全身を使い、水温、気温の影響を受けながら展開される運動であるので、生徒の健康状態によっては事故につながりやすいことに留意すること。

指導監督者・・・①生徒の健康状態等を水泳の授業を実施するにあたり、養護教諭、担任から情報の収集に努める。

②使用中に体調の不良を訴えた生徒がいた場合は、養護教諭に伝えるとともに担任にも伝え、様子を見る。

養護教諭・担任・・・①プールの使用にあたり配慮を要する生徒の状況を指導監督者に連絡する。

②指導監督者から体調不良を訴えた生徒の連絡を受けた場合は、経過観察するとともに、保護者に連絡を取り適切に対処する。

2. 施設・設備について

排水溝・・・①プールの使用前には、排水溝の蓋がねじ等でしっかり固定されていることを目視だけでなく触診して確認する。

②排水溝の吸い込み防止金具がしっかり設置されていることを確認する。

③ ①と②に異常がある場合は、プールの授業を中止し補修に努める。

プールサイド・・・①使用前には、周辺の整理整頓をする。

②補修の必要な箇所を発見した場合は、早急の修理に努める。生徒や他の教員に注意喚起する。

浄化装置・・・①プール使用前には、適切に動いていることを確認する。

②プールに関わるすべての教員に適切な操作が出来るよう、マニュアルを作成、貼付する。

水質管理・・・①常に水質(水温・塩素濃度・濁度・浮遊物)に注意をし、管理日誌に記録をする。

3. 水泳指導について

- ①水温と気温・・・プールの使用にあたり、水温・気温・日照に注意を払い、生徒の健康状態を把握しながら行うこと。
- ②準備体操・・・プールを使用する生徒には、十分な準備体操、シャワー等での体の清潔を保たせる。
- ③人員点呼・・・人員点呼は生徒の安全を確認する上での基本と考え、水泳の授業開始前と終了後は必ず行うこと。
- ④入水時間と休憩・・・生徒の健康状態と水温・気温とを考慮し、入水時間と休憩時間を適切に取ること。
- ⑤監視・・・・・・・・・・プールの使用中は、常に監視をし、異常があれば直ちに全員を水から上げ、適切に対処するとともに、応援を求める。

4. 救助方法と応急手当

- ①プールの使用に関わる教員だけでなく教員は救命講習の受講に努める。
- ②プールの使用に関わる教員は、AEDの設置場所と使用方法を知り、緊急時に使えるように努める。

この規則は、平成18年4月1日から施行する

プール日常点検リスト

○ 異常なし 点検修理 △ 修理依頼 × 年 月 日 ()

1	出入り口は施錠され、プール内に異常はないか。	
2	管理室は施錠され、薬品類が適切に保管されているか。	
3	シャワー、洗眼用蛇口は破損していないか	
4	プールサイドは整理整頓されているか。	
5	プール水槽に異物、危険物が混入していないか。	
6	排水溝のふたは固定され、吸い込み金具が取り付けられているか。	
7	浄化装置は正常に動いているか。	
8	水質水量は適切に管理されているか。	
9	生徒の健康状態は把握できているか。	
10	人員点呼を行ったか。	
11	管理日誌に必要事項を書き入れたか	

招提北中学校区キャリア教育全体計画

校区の教育目標 ○ 豊かな心と持続可能な社会性の育成 ○ 当事者意識をもって、考え行動できる力の育成		生徒の実態 ○ 素直で明るい生徒が多い ○ 何事にも真剣に取り組む
めざす子ども像 ○ 自ら進んで学び、自分の考えがもてる子ども ○ 何事にもあきらめず、ねばり強く取り組める子ども ○ 仲間を大切にし、お互いを尊重できる子ども		保護者・地域の願い ○ 自分で自分を律することのできる生徒 ○ 基本的な生活習慣を身につけた生徒
めざす学校像 ○ 平和を愛し、人権を尊重し、真理を探究する行動力のある児童生徒を育成する教育を推進する ○ 人間としての行き方についての自覚を深め、個人の尊厳を重んじ、協力してより良い社会を築こうとする実践力のある人間性豊かな児童生徒を育成する教育に取り組む	本年度の重点目標(学校課題) ○ 授業を基本に、基礎基本の学力定着は無論のこと、より一層の学力向上に向け全校挙げて取り組む。 ○ 全教職員の共通認識のもと、カウンセリングマインドを持って毅然たる生徒指導にあたる。 ○ 校長のリーダーシップのもと、学校運営体制の確立と開かれた学校運営の推進を図る。 ○ 教職員の同僚性を生かし職務の円滑な執行をし、教職員の資質向上のため、日々研修・研鑽に努める。	
		めざす教師像 ○ 基礎基本の学力定着を土台に一層の学力向上を目指す教師 ○ 仲間を大切に、互いに尊重できる心を育む教師

キャリア教育の全体目標			
育成すべき態度や能力			
人間関係・社会形成能力 ○ 自分の良さや個性が分かり、他者の良さや感情を理解し、尊重する力を育む。 ○ 他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする力を育む。	自己理解・自己管理能力 ○ 係や当番活動・委員会活動等それぞれの役割に主体的に取り組もうとする態度を育む。	課題対応能力 ○ 生活や学習の課題を見つけ、自分の力で解決しようとする力を育む。	キャリアプランニング能力 ○ 日常生活や学習と将来の生き方との関係を理解する力を育む。
教科 ○ 調べ学習における「課題設定の仕方」「調査」「まとめ」「発表」等を国語科、社会科、理科、生活科、技術家庭科、英語科等でも実施する。	道徳 ○ 道徳の時間を要として行う教育活動のうち、「主として他の人とのかわりに関すること」「主として集団や社会とのかわりに関すること」との関連を図る。	総合的な学習の時間 ○ 様々な活動を通じ、自ら考え、判断し物事をよりよく解決する力を育成する。 ○ 創造的・協力的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えさせる。	特別活動 ○ 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。 ○ 自己の生き方について考えを深めさせる。

指導計画

学年	小学校						中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
発達段階の目標	ともだちとなかよくしよう		友だちと協力しよう		自己を生かそう		生き方を考える		
つきたい力	つながる・わかる		つながる・チャレンジ		つながる・わかる・きめる		気づく	つながる	創り出す
活動名(活動内容)	どきどき学校たんけん	おうちのしごと学級会活動	まちたんけん	成長をふりかえって緑のカーテン	米づくり	平和学習	SDGs 介護福祉 多文化共生探究	SDGs 職業探究	SDGs 進路探究
目的	自分の学校について知る 2年生ともなかよくする	助け合う関係を築く	様々な人とふれあい、人間関係育成能力を育成する	命の尊さを感じ、将来の夢を育む	地域社会と直接関わって、食を通して自分の生き方についても考える	平和な国作りへの思いを育てる	介護福祉に対する意識を高める。 多文化に触れ、国際的な感性を育む。	自分の将来を主体的に考える態度や資質を育てる。	自分の将来と向き合い、個性や適性への理解を深め、進路を選択する。
活動内容	・2年生に案内してもらいながら、自分たちの学校の様子を知る	・家のひとの仕事しらべをする ・クラスで起こるけんか等について、仲直りの方法を考え話し合う。	・校区探検の計画 ・地域探検 ・探検したことについて話し合い、グループで新聞にまとめる。 ・グループごとに発表	・家族から話を聞く ・学級で将来の夢について話し合う	・米作りについて話を聞いたり、調べたりする。 ・米を使って調理実習	・修学旅行にむけて調べ学習 ・修学旅行後、修学旅行報告会に向けての発表準備 ・修学旅行報告会	・介護福祉について調べた後、介護福祉士との交流を通して、入居者に対してのレクレーション(対面、オンライン)を考える ・コアタウンFWや調べ学習を行う中で、そこに生きる人々の想いに気づく。探究したことをまとめ、発表・掲示する。	・社会におけるルールやマナーについて学習する ・職場で働く人にインタビューを行い、「働く事」について探究する ・学習内容をまとめ、発表・掲示する	・学級で、自分の将来の夢を語り、仲間の決意に耳を傾ける ・自分の関心のある内容について調べ学習を行い、必要に応じてインタビューやアンケート、リモート会議などを行い、自分のアクションプランをまとめて発表・掲示する
その他 ・期待する子どもの変容 ・目的達成に向けたポイントなど	・学校生活に慣れ、基本的な生活習慣を身につける ・2年生とも仲よくなる	・家族の大切さがわかる ・自分ができる家の仕事をする ・友達のことを考える	・地域の施設や人々に興味・関心を持つ	・自分のよさや個性に気づき、仲間として、友達よさを理解する ・環境問題について考える	・米作りについて話を聞いたり、調べたりする。	・未来に向けて平和の大切さにあらためて気づく	・自分の将来の夢や進路について意欲・関心を高める	・社会の一員としての自覚を身につけさせる ・自分の将来について考え、進路選択にいかすことができる	・自分の考えをしっかり持ち、進路選択の意思表示ができるようになる